

# 民報 ゆうばり 全道共産党議員研修会開催

## オスプレイよりも子ども・若者の貧困解消を！

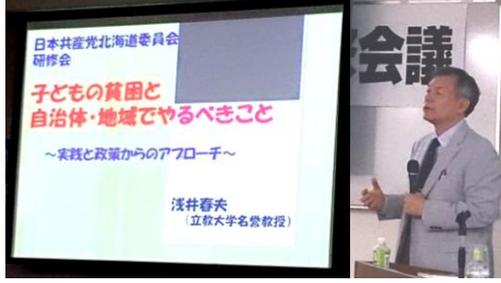
### 子どもの貧困と自治体・地域でやるべきこと

8月21日・22日の両日、札幌市内で、全道共産党議員研修会が開催されました。

講師は浅井春夫・立教大学名誉教授で、「子どもの貧困と自治体・地域でやるべきこと」と実践と政策からのアプローチ」と題した記念講演です。

#### 家族と子どもの貧困

まず最初に、5日に墜落したオスプレイの訓練に沖縄での怒りの声、そして、北海道での日米合同



訓練にふれました。★どんな出来事が身近に起こっているか ●夏休みで10キロも痩せてきた中学生 ●むし歯20本で治療がされていない子ども ●朝、正門が開けられないのを待っている小学生 ●中学生で総入れ歯にせざるをえなかった子ども

①質的量的の両面からの社会調査 ②具体的な取り組み ③実践をつくることと解決のための政策形成が求められている

- 教材費を立て替えている教員
- おにぎりを家から持参し、朝食べさせている教員
- 「ママに電話しないで：」という幼児（保育園）
- 修学旅行の積立金を崩して、生活費に充てる子
- 卒業アルバム代を払えず、持たずに卒業する子
- ★子どもの貧困問題の第2次ブーム
- 2008年は「子どもの貧困元年」



#### 「めが武」と語る後援会のつどい 16名が参加

8月26日、市民研修センターで、共産党10区国政対策委員長の「めが武と語る後援会のつどい」が開催され、16名が参加しました。

最初に、めがさんから「北朝鮮のミサイルについて、心配されている声も聞く。マスコミでは、北朝鮮に対する『脅威論』ばかりが取り上げられている。もし本当に攻撃する気があれば、最初に攻撃するなら日米同盟を結ぶ日本の、日本海側にある原発を攻撃するのではないか。

そうしないのは、北朝鮮は脅しているだけ。私が日本の総理大臣だったら、そんなことをするより国際社会の仲間入りをし、ともに平和な国際社会をつくるために努力しようと話をしに行きたい。そして、日米同盟によって、多額の予算で兵器を買う日本より、社会福祉の予算を大きくしたい。そのためにも、「安倍政権を倒す野党統一候補」を立てて市民と野党の共闘で総選挙に勝利しようと語りました。

くまがい桂子市議は「安倍政権下で財政破たんを迎え、この10年間で、三分の一の4千人もの人口が現役世代を中心に転出しました。市民の暮らしを守るためにも、総選挙で新しい政権を作れるよう、力を合わせましょう。」等と話し、参加者らは大きくうなづいていました。

『第4巻 臨時軍事費』1995年刊より  
【一般会計と直接軍事費の比重】

- ・日清戦争（1894～95年）69.2～65.5%
- ・日露戦争（1904～05年）81.8～82.3%
- ・満州事変（1931年）31.2%
- ・太平洋戦争末期（1944年）85.5%

※戦争中の国家予算（一般会計）の軍事費の比重は、低い時で3割、高いときには9割に近い比重

★2015年オスプレイ17機と関連装備の購入を決定＝推定価格で約3600億円—15年度社会保険予算の削減額3900億円に匹敵！！

る。★「子どもの貧困」を具現化するための発信とは何を求めるか。★生活困窮者自立支援法に基づく学習支援事業に関する調査結果（2017年3月21日、さいたまユースサポートネット）

●学習支援での実施自治体は全国171自治体中、423自治体（24.6%）が実施

●実施自治体の42%は「学習ボランティア」を課題に挙げた。

●中学生（回答748人）に支援事業を利用した前後で「友達との仲の良さ」の

56%。「将来の進学見通し」「家での学習習慣」「学校の成績」は各49%、「大人に対する印象」は45%だった。「自分に對する自信」も32%あった。

### 子ども・若者の貧困温存による経済的徴兵制

★補足：子ども・若者の貧困と経済的徴兵制への可能性

- 徴兵制と志願制をめぐる世界の動向
- 志願制への流れがあるが、それは経済的徴兵
- 米国の経済的徴兵の実態（軍隊に行くことで進学可能に）
- 立憲主義に関する決定的な変更内容

### フィンランドは憲法に子どもの平等を規定

- ★フィンランドのと
- りくみ
- 憲法に子どもの平等（対等性）を規定
- 所得再分配によって、子どもの貧困率

を74%減少し15.8%から4.2%へ

★家族政策の柱

①母親手当（現金給付または「赤ちゃんキット」）

②出産・親休業制度（母親105日間・父親18日）30日間に加えて、158日の親休業の保障

③子ども手当（子ども数に応じて累進的に増加

### 子どもの貧困対策（根絶）条例の提案

- ★国の責務・地方自治体の責務の具体的内容・目標を明記
- ★現状と実施の公表の義務付けが必要
- 自治体での子どもの貧困対策
- 英・米では、学校に「朝食クラブ」
- 日本では地域で「子ども食堂」等
- 地域住民の自主的な取り組み（子ども食堂・フードバンク）
- 条例化（前文を子どもにわかる文章で、目標・計画の明示を。

## 貧困が改善？～実態は貧困の倍加！

日本の実質的な貧困人口率は2016年で24.3% (3,079万人) = 4人に1人が貧困、18年前の約2倍増と悪化し続けています。

政府は今年6月、全人口の貧困率は2012年の16.1%から2015年の15.6%。子どもの貧困率は16.3%から13.9%へ減少と発表しました。

この発表に、「貧困は深刻な状況ではあるが改善の方向」というのが大方の見方でした。

しかし、よく見てみると、可処分所得（実収入から、税金や社会保険料などの非消費支出を差し引いた手取り収入＝「家計が自由に処分することができる所得」）の分布を見た場合、状況は悪化しています。貧困の改善どころの話ではありません。

実質値の貧困線が2012年の111万円から2015年の106万円に下がっています。可処分所得の全体が下がっているの、全体が下がり、貧困線も自

動的に下がるわけです。

2012年の貧困線111万円で、2015年の数字からみると、全人口の貧困率は17%となり、むしろ上がっているのです。

子どもの貧困率は15.6%と少し改善したように見えるのは、低所得の世帯の有業人口が増えたからです。

物価上昇を加えれば2016年の貧困人口率は24.3%、3,079万人になります。18年前の1998年が12.9%ですから、2016年は2倍近くも貧困人口率が増加しているのです。

政府は大企業の求めに応じて労働法制を改悪し、非正規雇用が増加しています。

働き盛り世代で、不安定・低賃金の非正規雇用が増加したことが、国民全体の貧困を2倍にも増加させているのです。

貧困と格差の解消のために、また貧困の一番の原因となる戦争をさせないために、野党共闘の新政権を実現させましょう！



日本共産党 夕張市議 くらまい桂子



岩渕友「国会かけある記」 参議院議員

### 被災地での歴史的母親大会

岩手県盛岡市で開催された第63回日本母親大会に参加しました。道内各地から参加されたみなさんともお会いし、交流することができました。

歴史的な大会になったと思います。来賓として達増拓也岩手県知事と谷藤裕明盛岡市長が参加。知事と市長と一緒に参加するのは、大会史上初とのこと。会場が大いに沸きました。また、実行委員長はJARA岩手県女性組織協議会会長です。2015年の県知事選挙で、野党が共闘して達増知事を誕生させ、その後も発展してきた市民と野党の共闘が新しい変化をつくっていることに胸が躍りました。

東日本大震災後、東北で初めて開催されることになった大会。岩手、宮城、福島で被災地をめぐる分科会が行われました。大震災から6年5ヵ月経った被災地の現状を知ってもらう貴重な機会になりました。大会の様子は地元紙が見開きで紹介しました。

私にとって岩手県での日本母親大会は二回目。前回1988年の第34回大会です。小学生だった私は母と一緒に参加しました。といっても、暑かったことぐらいしか思い出せないので。今回母は参加できませんでしたが、親子で参加される方々も多くいらっしゃいました。

母親大会は原水爆禁止が原点です。草の根で運動が続けられ、次の若い世代につながっています。その努力に思いを馳せながら、核兵器禁止条約にサインする政府をつくらなくては改めて決意しました。